

今後の「光の道」議論に向けて

平成22年8月23日
ソフトバンク株式会社

原口ビジョンIIにおける達成目標

「光の道」100%の実現



**2015年頃を目途に
すべての世帯で
ブロードバンドサービスの利用を実現**

当社提案

2015年までに
6,200万回線全てを光回線に

実現方法

- 税金ゼロ
- 民間企業のまま実現
- 離島含めて希望者全員に

価格

- メタル線と同じ1,400円
- 光BB価格はADSL以下に

アプリケーション

- 電子教科書、電子カルテ無料
- 電話はそのまま利用可能

導入費用(3万)の根拠が不明

SB提案はNTT
公社化

メタルと光の費用
配賦方法が不明

設は不要でDS
エムトで十分

光へ
財産権侵害

関係者から

音が発生

競争なら他事業者のクリ
スキミングにより、アクセ
社の収支悪化

計39の指摘

バランスシート

電話は停電

アクセス回線会社の
機軸構成等が

線帯域不足なら

光を全国

電力系等設備を保有
する事業者への影響

全費(3.9兆)」と
線維持費(7,600
」のどちらが正しい

SBの収支試算は
正しい

とすべきで

独占がインベーシ
ンを阻害

5年では不可能

世帯への光敷設

無線は元より

メタルの初
機却

全て回答済み

た
不可
不要

分離は諸外
前例なし

情報アクセス権は有害
(地方への税のばらまき

ラットフォーム競
を重視すべ

議論を加速するために

NTTも積極的参画を



直接討議

早期情報開示

新たな政策決定プロセスへ

ICT活用

- インターネット
ライブ中継



- Twitter等による
双方向討議



熟議の民主主義

- 時間制限なしの
徹底討論

- 当事者が
直接討論



ICTで直接民主主義を実現

別 添

NTT殿が開示すべき情報(1/2)

| 項目 | 質問事項 |
|----------------|--------------------------------------|
| メタル線→光回線への移行計画 | 段階的な移行計画内容(時期・期間・地域・方法等) |
| | メタル/光回線数の予測推移 |
| | 移行・撤去対象設備 |
| | 移行後のネットワーク構成 |
| | メタル回線撤去コストの見込額、負担方法、計上箇所 |
| | 移行期・移行後における事業者向けメニュー(接続箇所・接続条件等)への影響 |
| PSTN→IPへの移行計画 | 段階的な移行計画内容(時期・期間・地域・方法等) |
| | PSTN/IP電話契約者数の予測推移 |
| | 移行・撤去対象設備 |
| | 移行後のネットワーク構成 |
| | 移行期・移行後における事業者向けメニュー(接続箇所・接続条件等)への影響 |

NTT殿が開示すべき情報(2/2)

| 項目 | 質問事項 |
|--------------|--|
| 光回線の詳細 | 総芯線数と総芯線長の内訳 (利用芯線/未利用芯線別、き線点の上部/下部区間別) |
| | コスト内訳 (利用芯線/未利用芯線別、き線点の上部/下部区間別) |
| | 総ケーブル長 |
| | シェアドアクセスの局外スプリッタの平均稼働率 (NTT/接続事業者別、地域別) |
| | 光配線区域の情報(住所、範囲) |
| メタル回線の詳細 | 総芯線数と総芯線長の内訳 (利用芯線/未利用芯線別、き線点の上部/下部区間別) |
| | コスト内訳 (利用芯線/未利用芯線別、き線点の上部/下部区間別) |
| | 敷設済み芯線の芯線数、芯線長、稼働率の推移 (新設/更改/移設毎、敷設年度別) |
| | 総ケーブル長 |
| | RT設置状況 |
| | 光サービス移行後、メタルサービスに戻ったユーザ数 |
| 光/メタル回線費用の扱い | 施設保全費に占める直課費用・配賦費用の内訳、内容、配賦基準 |